

若年性認知症講演会

～当事者・家族が本当に望む支援とは～

明日、あなたが『若年性認知症』と診断されたら、どうしますか？ 今の仕事は、家庭は…
どうなっていくのだろうと悩むはずです。現在、広島市内には、『若年性認知症』と診断され
た方が約 600 人いるといわれています。他人事だと思っていなくても、明日、関わるかもしれな
い問題なのです。当事者・家族が何を望まれているのか、福祉・医療専門職に何ができるのか、
また、一人の地域生活者として何を準備すればよいのか、など一緒に考えてみませんか。

日 時：平成 30 年 3 月 19 日（月）18：30～20：30

会 場：広島市中区地域福祉センター 5 階

内 容：●講 演 「自助と互助の観点から認知症支援を考える」

講師／老い仕度クリエイター 石黒秀喜氏

厚生労働省退職後、（一財）長寿社会開発センター理事を歴任、現在は老い
仕度クリエイターとして活動中。啓発冊子として『上手に老いるための自己
点検ノート』を監修、介護され上手を目指すことを提唱している。

●トークライブ

Part1 当事者・家族の生の声

聞き手／広島市認知症地域支援推進員 岡田真理氏

Part2 パネルディスカッション

テーマ「当事者家族が本当に望む支援とは」

コーディネーター／ご近所福祉クリエイター酒井 保氏

知的障害者施設、広島県大野町社会福祉協議会、認知症グループホーム・
小規模多機能勤務を経て、現在、ご近所福祉クリエイターとして活動中。
『「見守り活動」から「見守られ活動」へ』などを執筆している。

主 催

若年性認知症の本人家族の地域生活支援を考える会
広島市 ／ 公益社団法人 認知症の人と家族の会広島県支部

後 援

中四国厚生局（予定）／ 広島市域小規模事業者連絡会
広島市域通所サービス連絡協議会 ／ 広島市域訪問介護事業所連絡会

申込〆切
3/12(月)

お 申 込 み

※必要事項をご記入の上 **082-824-8124** まで**FAX**でお申込みください※

所 属	連絡先 TEL() —
ご氏名	FAX() —